

ぎよさい・積立ぶらす加入実績（一月末速報）

共済金額で前年対比十七億円の減少

ぎよさいの一月末加入実績は、漁獲・特定養殖・漁業施設・地域共済（休漁補償）の共済金額総合計で九百七十三億二千五百万円となりました。本年度の加入計画は一千五百四十億円ですので、達成率で六十三%となっております。前年同期と比べますと、漁獲共済では、漁船漁業や定置漁業で新規加入が図られた他、各漁種で契約割合の上げが図られましたが、継続契約において共済限度額が低下したこと等により、十七億四千万円減少し、特定養殖共済では、ほたて貝養殖業と同様に共済限度額が低下し、一億六千万円減少しました。漁業施設共済では、割引制度の活用等により、さけ定置漁具で新規加入があり、二億六千万円増加しましたが、ぎよさい総体では、共済金額合計で十七億円程減少しています。

積立ぶらすについては、漁業者積立額で五十八億円となり前年同期に比べ八億八千万円増加しています。

令和元年度も残り二ヶ月となりましたが、継続契約では、二月責任開始で北見・稚内管内の「ほたて貝桁網漁業」、日高管内の「中型・小型合併漁業」、北見管内の「ほたて貝養殖業」等が、三月責任開始では全道各地区の「小型・中型合併漁業」、小樽・留萌管内の「えび籠漁業」、北見・稚内管内の「かに籠漁業」等があり、新規契約では、根室・稚内地区の「小型合併漁業」、北見地区の「中型合併漁業」の

加入推進を予定しており、積立ぶらすと共に更なる補償の充実をご提案して参りますので関係各位のお力添えをお願い申し上げます。

令和元年度 ぎよさい・積立ぶらす 1月末引受実績（速報）

金額単位：百万円

区分	項目	本年度実績		前年度実績		前年対比	
		共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
漁業共済	漁獲共済	78,901	5,235	80,643	4,347	△ 1,742	888
	特定養殖共済	12,139	566	12,302	577	△ 163	△ 11
	漁業施設共済	5,717	—	5,461	—	256	—
	合計	96,757	5,801	98,406	4,924	△ 1,649	877
地域共済(休漁補償)		568	—	570	—	△ 2	—
総合計		97,325	5,801	98,976	4,924	△ 1,651	877

(注) 共済金額は漁業共済、積立金額は積立ぶらすの漁業者積立申込金額である。

令和元年度「秋さけ定置」支払見込等を報告

「共済金・積立ぶらすで百八十二億円に」

昨年十二月十二日に開催された北海道定置漁業協会主催の「定置漁業振興会議」において、令和元年度秋さけ定置漁業に係る漁獲共済・積立ぶらす及び漁業施設共済の地区別引受実績と支払（払戻）見込等を報告致しました。

漁獲共済では、漁期当初から極端なさけの来遊不振が続ぎ、市況の変化から価格安となったことも相まって水揚金額が低迷したこと、釧路・根室・北見・稚内地区を中心に全道で三百五十件、支払共済金で五十三億円程度、積立ぶらすでは引受件数の九割を超える四百十八件、払戻補てん金で百二十八億円程度、合わせると百八十一億円程度の支払い見込みとなることを説明致しました。

その他、クロマグロ強度資源管理タイプの払戻判定金額の特例措置が適用されている効果や、共済組合が設立された昭和三十九年からのさけ定置漁業の全道の水揚げと漁獲共済・積立ぶらすの加入・支払実績など説明し、積立ぶらすが実施された平成二十年から加入実績が伸長していること、これまで魚価暴落や全道的な来遊不振による支払・払戻が発生しており、令和元年度が過去最高の支払いとなることなどを報告致しました。

令和元年度 秋さけ定置 漁業共済・積立ぶらす 地区別引受実績と支払（払戻）見込

北海道漁業共済組合

地区	漁獲共済				積立ぶらす(クロマグロ強度タイプ)				漁業施設共済			
	引受実績		支払見込		引受実績		払戻見込		引受実績		支払見込	
	件数	共済限度額	件数	共済金	件数	漁業者本人積立額	件数	合計払戻額	件数	共済価額	件数	共済金
小樽	47	693	13	29	40	50	26	143	39	356	5	13
桧山	11	116	6	7	11	8	9	14	2	25	-	-
函館	60	1,233	41	133	52	76	45	289	0	0	-	-
室蘭	26	1,920	24	300	26	133	25	526	11	230	-	-
日高	45	3,448	35	384	42	286	38	995	15	399	-	-
釧路	38	2,834	38	648	38	373	38	1,493	66	2,324	-	-
根室	143	8,540	109	1,119	143	881	137	3,126	46	1,049	-	-
北見	47	16,596	44	2,118	47	1,360	46	4,881	133	4,568	-	-
稚内	44	3,428	33	528	44	310	44	1,213	2	27	-	-
留萌	12	591	7	43	12	31	10	116	4	93	-	-
合計	473	39,399	350	5,309	455	3,508	418	12,796	318	9,071	5	13
前年度実績	486	41,599	263	3,446	466	2,800	354	7,361	307	8,588	3	20
前年度対	△ 13	△ 2,200	87	1,863	△ 11	708	64	5,435	11	483	2	△ 7

※積立ぶらすの件数は該当する漁獲共済の契約件数で、漁業施設共済の件数は契約網数で夫々記載した。

※支払見込は11月30日現在の漁獲金額、被害状況により算定した。

※一覧表は、定置漁業振興会議資料より抜粋作成。

全道「JF共済」推進委員長会議でぎよさい・積立ぶらすについて報告

「組合員の漁業経営の安定に貢献」

一月二十二日に開催された第二十九回全道「JF共済」推進委員長会議において、「ぎよさい・積立ぶらすの現状とこれからの取り組み」について報告致しました。

【平成三十年度の事業概況】

加入状況は、前年度実績に比べ、ぎよさいでは、二十トン未満漁船漁業等の新規加入や秋さけ定置漁業で契約割合の引上げが図られたこと等により、件数で六十四件、共済金額で九十六億円増加し、積立ぶらすでは、クロマガグロTAC導入に伴う特例措置の効果等により、件数で八十六件、漁業者積立額で十四億円増加しました。

支払状況は、前年度実績に比べ、ぎよさいでは、件数で二百三十四件減少しましたが、支払共済金では秋さけ定置やほ

たて貝桁網漁業等を中心に二十五億円増加し、積立ぶらすでは、件数で百六十六件減少しましたが、クロマガグロの特例措置等により、払戻補てん金では五十四億円増加したことを報告しました。



【令和元年十二月末の事業概況】

加入状況は、前年度実績に比べ、ぎよさいでは、前年度に引き続いて二十トン未満漁船漁業等の新規加入が図られました。秋さけ定置漁業・ほたて貝養殖業の水揚減少が続き、共済限度額が低下したこと等により、件数で六十六件増加したものの、共済金額では九億円減少し、積立ぶらすでは、クロマガグロ特例措置等により、件数で百三十七件、漁業者積立額で九億円増加しました。

支払状況は、前年度実績に比べ、ぎよさいでは、漁船漁業やほたて貝養殖業等を中心に件数で三百六十八件、支払共済金で十三億円増加し、積立ぶらすでは、件数で三百八十件、払戻補てん金で二十億円増加しました。

又、年度末では、ぎよさいの支払共済金で最大百三十億円、積立ぶらすの払戻補てん金で最大二百億円、合計で三百三十億円と史上最大の支払額になる見込みであることを報告しました。

【令和二年度の取り組み】

◎基本的な考え方

□平成二十九年四月に策定された国の水産基本計画において「令和四年度までに漁業生産の九割が漁業収入安定対策に加入すること」が政策目標となっていること。

□平成三十年度、北海道における「ぎよさい・積立ぷらす」の加入率は八十四%であること。

□令和元年度の加入目標は八十五%、今後三年間で加入率九十%を目指すこととしております。

◎令和二年度の重点推進事項としては

- ① 継続契約（積立ぷらすとのセット加入）の確保をし、
- ② 未加入となっている主要漁業・養殖業の加入拡大を基本とすること。
- ③ 漁業施設共済（秋さけ定置漁具）の加入拡大に引き続き取り組みむことを報告致しました。

令和元年12月末「ぎよさい・積立ぷらす」加入・支払実績

(1) 加入状況

		12月末実績	前年同期	差
ぎよさい	加入件数	6,214 件	6,148 件	66 件
	共済限度額 (補償水準金額)	1,257 億円	1,268 億円	△ 11 億円
	共済金額 (契約金額)	869 億円	878 億円	△ 9 億円
積立 ぷらす	加入件数	3,035 件	2,898 件	137 件
	漁業者積立額	54 億円	45 億円	9 億円

(2) 支払状況

		12月末実績	前年同期	差
ぎよさい	支払件数	1,360 件	992 件	368 件
	支払共済金	38 億円	25 億円	13 億円
積立 ぷらす	払戻件数	1,443 件	1,063 件	380 件
	払戻補てん金	60 億円	40 億円	20 億円

(注) 払戻補てん金は、漁業者1+国3の合計金額